

平成20年度一般会計決算概要

336億5,185万8千円の 使いみち

平成20年度一般会計の歳入の決算額は、354億2,478万3千円で、19年度比8億5,191万8千円(2.5%)の増となりました。この主な要因は、国庫支出金と市債などが増加したことによります。

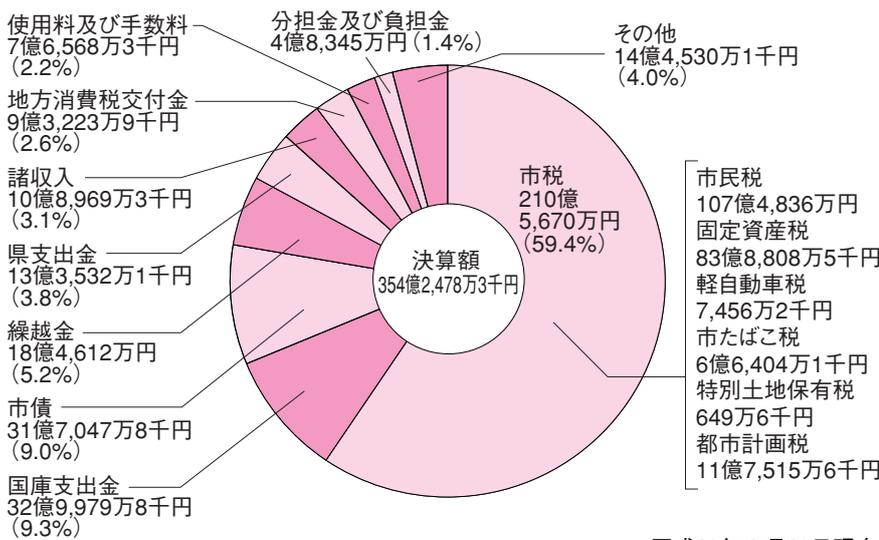
歳出の決算額は、336億5,185万8千円で、19年度比9億2,511万2千円(2.8%)の増となりました。この主な要因は、(仮称) 膝折市民センター等建設事業や第四・第五小学校改築事業などによります。

問い合わせ／財政課 内線2323 ☎048-463-3179(直通)



重要文化財 旧高橋家住宅
(平成20年10月1日開園)

歳入の状況



平成21年3月31日現在
人口 128,491人

市民1人当たりの市税負担額						163,877円
市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	特別土地保有税	都市計画税	
83,651円	65,281円	580円	5,168円	51円	9,146円	

歳入の主な状況

市税の決算額は、210億5千670万円で、19年度に比べ3億6千764万6千円(1.8%)の増となりました。これは、納税義務者数の増加により個人市民税が増加したことなどによります。

国庫支出金の決算額は、32億9千979万8千円で、19年度

に比べ5億4千555万1千円(19.8%)の増となりました。これは、第四・第五小学校改築事業に係る補助金が増加したことなどによります。

市債の決算額は、31億7千478千円で、19年度に比べ6億5千710万7千円(26.1%)の増となりました。これは、第四・第五小学校改築事業のため市債の借入れを行った

歳出の主な状況

民生費の決算額は、114億1千890万3千円で、19年度に比べ1億7千935万5千円(1.5%)の減となりました。これは、国民健康保険特別会計などへの繰越金が減少したことや(仮称) 仲町保育園建設工事が19年度に終了したことなどによります。

教育費の決算額は、69億5千337万9千円で、19年度に比べ22億8千847万2千円(49.1%)の増となりました。これは、

ことなどによります。

繰越金の決算額は、18億4千612万円で、19年度に比べ8億3千841万8千円(31.2%)の減となりました。

県支出金の決算額は、13億3千532万1千円で、19年度に比べ3千414万8千円(2.5%)の減となりました。これは、19年度に実施された県議会議員選挙に伴う委託金が減少したことなどによります。

諸収入の決算額は、10億8千969万3千円で、19年度に比べ5千218万3千円(5.0%)の増となりました。これは、都市競艇組合配分金が増加したことなどによります。

歳出のうち、第4次総合振興計画基本構想にかかわる主なもの

(1万円未満切り捨て)

都市づくり

- 花と緑のまちづくり事業 3,433万円
- 土地区画整理組合補助金(根岸台五丁目土地区画整理組合) 1億6,437万円
- 北朝霞陸橋落橋防止対策設計 601万円
- 道路新設改良事業(改良工事8路線、舗装工事2路線、用地取得) 3億359万円
- 街路事業(緑ヶ丘通線、観音通線、駅西口富士見通線、駅東通線、岡通線の整備) 9,950万円
- 生け垣設置奨励補助金 60万円
- 緑地用地の購入((仮称)根岸台四丁目緑地用地、(仮称)根岸台八丁目緑地用地) 6,257万円
- 新高橋ふれあい広場用地の購入 1,449万円
- 公園の整備((仮称)根岸台七丁目公園、(仮称)根岸台八丁目公園、(仮称)向山公園、あかね公園) 1億6,059万円

生活環境づくり

- 八都県市合同防災訓練の実施 635万円
- 防災対策事業(地域防災計画の改定、防災行政無線整備工事など) 2,597万円
- 防犯対策の強化(防犯街頭キャンペーン、防犯パトロールの推進など) 2,552万円
- 水質調査、大気調査 1,692万円
- ダイオキシン類環境調査 595万円
- 放置自転車対策の充実・強化 3,800万円
- 生ごみ処理器購入補助 56万円
- 地域リサイクル活動推進補助 2,671万円
- 消防ポンプ自動車の更新 1,186万円

社会づくり

- 溝沼放課後児童クラブ保育室の定員拡充 135万円
- 高齢者安心見守り通報システムの導入 95万円
- 高齢者保健福祉計画の策定 360万円
- 障害福祉計画(第2期)の策定 436万円
- 後期高齢者医療制度の開始 5億4,818万円

人づくり

- 小学校低学年複数担任制の実施 2,727万円
- 国際理解教育の充実(講師の増員など) 3,726万円
- 小学校の施設改修工事(九小のスプリンクラー設置など) 1億5,889万円
- 第四小学校改築事業(工事) 10億9,280万円
- 第五小学校改築事業(工事) 13億1,903万円
- 湧水「代官水」の保存整備 393万円
- 広沢の池周辺の整備 1億3,142万円
- 旧高橋家住宅保存整備事業(外構等整備) 9,654万円
- 全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技の共同開催 437万円

産業づくり

- 「朝霞ブランド」の推進・普及 133万円
- 市民農園の開設 819万円
- 商店街活性化推進事業補助金制度の実施 262万円
- 地場野菜の生産振興 398万円
- 地産地消推進に対する補助制度の実施 5万円
- 勤労者研修講座の実施 21万円

地域づくり

- (仮称)膝折市民センター等建設事業(工事) 2億6,800万円
- 町内会、自治会等への補助 1,342万円
- 市民まつりへの助成 2,100万円
- 男女平等推進に関する諸施策の推進 180万円

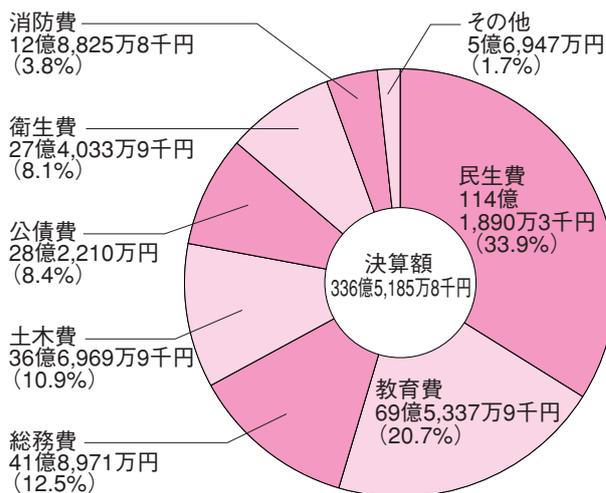
給付事業の引き上げなど

- 私立保育園就園費等補助金の拡大 759万円
- 幼稚園就園費等補助金の拡大 3,784万円

第四・第五小学校改築事業に係る工事費が増加したことなどにより、総務費の決算額は、41億8千971万円、19年度に比べ5千147万5千円(1.2%)の増となりました。これは、(仮称)膝折市民センター等建設事業に係る工事費が増加したことなどにより、土木費の決算額は、36億6千969万9千円、19年度に比べ16億453万4千円(30.4%)の増となりました。これは、朝霞駅南口駅前広場等整備事業が19年度に終了したことなどにより、

公債費の決算額は、28億2千210万円、19年度に比べ2億3千557万6千円(9.1%)の増となりました。衛生費の決算額は、27億4千333万9千円、19年度に比べ1億2千238万1千円(4.7%)の増となりました。これは、プラスチック類選別ライン設置工事を行ったことなどにより、

歳出の状況



市民1人当りに使われたお金							261,901円
民生費	教育費	総務費	土木費	公債費	衛生費	消防費	その他
88,869円	54,116円	32,607円	28,560円	21,964円	21,327円	10,026円	4,432円

特別会計決算額

会計名	歳入決算額	対前年比%	歳出決算額	対前年比%
国民健康保険	107億2,143万1千円	98.4	101億302万2千円	95.9
下水道事業	17億7,363万3千円	94.5	16億7,084万9千円	93.5
老人保健	8億2,822万円	13.7	7億7,149万9千円	13.1
介護保険	38億1,921万4千円	101.2	36億3,543万7千円	104.9
後期高齢者医療	7億3,846万9千円	皆増	6億9,410万2千円	皆増

※パーセント表記のものについては、小数点以下第2位を四捨五入しています。

市民サービスの経費はどれくらい？

いくつか例を挙げてみました



小学生
1人当たり1年間
12万6,772円

小学校費（学校建設費を除く）の決算額（9億5,561万円）を学校基本調査人数（7,538人）で割りました。



保育園児
1人当たり1年間
132万1,354円

保育園の運営経費（14億2,375万9千円）を年間延べ入園児童者数（1万2,930人）で割り、その額をもとに年間の経費を計算しました。

※保育士の人件費が含まれているため、小・中学生1人当たり1年間にかかる経費よりも金額が大きくなっています（小・中学校の先生にかかる人件費は県が負担しています）。



中学生
1人当たり1年間
13万8,456円

中学校費の決算額（4億4,292万2千円）を学校基本調査人数（3,199人）で割りました。



放置自転車撤去
1台当たり
1万5,549円

放置自転車撤去費用（3,638万4千円）を年間撤去台数（2,340台）で割りました。



児童生徒の学校給食
1人当たり1年間
9万3,912円

学校給食費の決算額（10億833万円）を学校給食基本調査人数（10,737人）で割りました。



ごみ処理
1人当たり
1万4,009円

清掃費（し尿処理経費除く）の決算額（18億4万円）を人口（12万8,491人）で割りました。



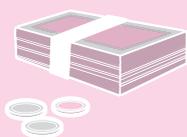
図書館図書購入の
1人当たり1年間
284円

図書館図書購入の決算額（3,651万円）を人口（12万8,491人）で割りました。



道路改良
1メートル当たり
20万9,885円

道路改良の経費（3,295万2千円）を整備延長（157.0m）で割りました。



公債費
1人当たり
2万7,631円

公債費（水道事業以外の特別会計を含む）の決算額（35億5,035万1千円）を人口（12万8,491人）で割りました。

※公債費とは、借入金の返済経費をいいます。



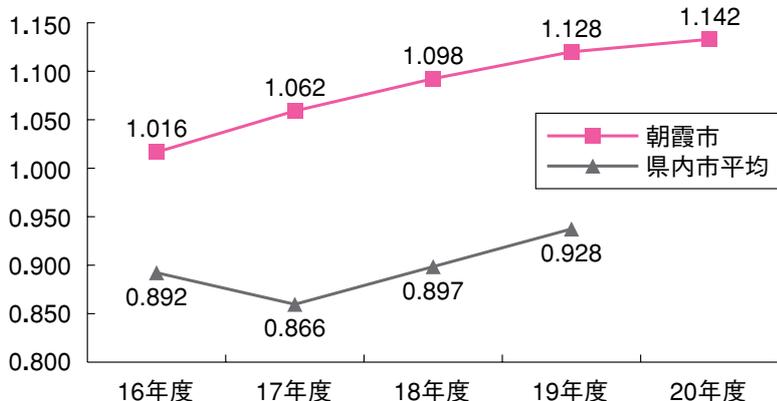
歩道整備
1メートル当たり
42万2,291円

歩道整備の経費（1億6,942万3千円）を整備延長（401.2m）で割りました。

〈平成20年度 決算に基づく指標〉

財政力指数

1.142

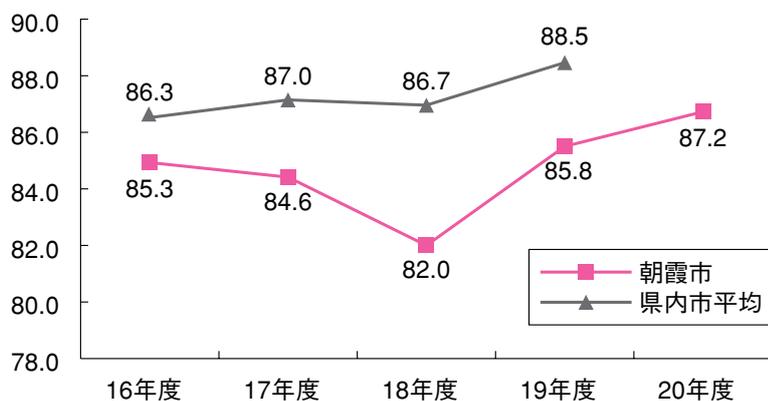


財政力指数は、標準的な行政活動を行うのにどれだけ自力で財源を調達できるかを表した指標です。

〔参考〕平成19年度は、財政力指数の高い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中4番目でした。

経常収支比率

87.2%



経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断するための比率で、人件費や扶助費（社会福祉のために支出されるお金）などの経常的な経費に、地方税などの経常的一般財源がどの程度充当されているかをみる指標です。

〔参考〕平成19年度は、経常収支比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中7番目でした。

健全化判断比率

実質赤字比率 「 - 」 (12.25%)

実質赤字比率は、一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模（一般財源の標準規模）に対する比率です。

連結実質赤字比率 「 - 」 (17.25%)

連結実質赤字比率は、全会計を対象とした実質赤字額（又は資金不足額）の標準財政規模に対する比率です。

実質公債費比率 4.1% (25.0%)

実質公債費比率は、一般会計等が負担する地方債の償還金等の標準財政規模に対する比率です。

将来負担比率 48.0% (350.0%)

将来負担比率は、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

健全化判断比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方財政の早期の健全化を図るために定められたあらたな指標です。

〔参考〕()内の数値は朝霞市の早期健全化基準を表しています。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字額がないため「-」と表記しています。

